

庁内LANを活用し、マイク放送にも対応する “高付加価値型”緊急地震速報システム。

東京都目黒区 様

そこに、
TOA...



目黒区防災センター

交通の利便性が高く、都心に近い良好な住宅地として発展してきた東京都目黒区様。区内には、都が発表する危険度の高い地域に指定される地区もあり、防災意識の高い区として知られています。同区では、そうした地域性から区民の安全を守るために、全ての区立小中学校、幼稚園および保健センターに緊急地震速報システムを導入されています。そこにTOAのIP告知放送システム（IP告知送信機 NX-220CT・IP告知端末 NX-220HU）が役立っています。同区では、既存の庁内LANネットワークを活用してシステムを構築しています。構築コストを抑えるだけでなく、今後の緊急地震速報音声報知システムの拡充の際にも、低コストかつ迅速に対応できるメリットがあります。また、外部のネットワークとは完全に遮断されているので、セキュリティも万全です。

緊急地震速報システムは、いつ起こるか分からない地震に対して、いざという時にきちんと作動することがとても重要です。同システムは、小中学校などの各拠点に設置したIP告知端末の死活監視を自動的に行い、防災センターでシステム全体の稼働状況を把握できます。その際、もし異常がある場合には各拠点に連絡し、復旧させる仕組みになっています。IP告知送信機 NX-220CT は、サーバーを使用しないため、運用や保守点検が非常に簡単に行える特長を備えており、各端末についても操作ボタンを最低限に抑えるなど、できるだけシンプルな設計としています。そのうえで分かりやすいマニュアルを用意することで、専門知識のない人でも対応できるように配慮しています。

また、当システムはIP告知端末と区立小中学校の既設放送設備とを接続しており、それにより各校の既設放送設備を通して、対象校全てに対する「一斉放送」はもちろん、「グループ放送」や「個別



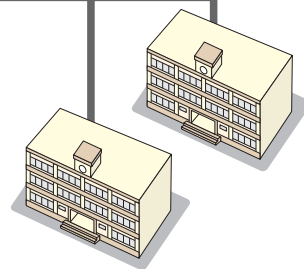
防災センターに設置されているIP告知送信機が組まれたラック。PCで各端末の死活監視などの操作ができます。

防災センター内に設置された赤色回転灯。各端末に異常があれば職員に知らせるようになっています。



庁内LAN

区立小中学校・幼稚園、および保健センター（全35施設）



区立小学校の職員室に設置されているIP告知端末 NX-220HU。既設放送設備に接続されています。

放送」など、防災センターからさまざまな放送を行うことができます。たとえば警察から不審者の情報が入った場合には、対象となる学校に警戒を促す放送を流すことで、防犯対策に活用できます。そのほか、台風やゲリラ豪雨の注意や日常業務に関するお知らせなど、緊急地震速報以外にもさまざまな状況に使用できることからコスト面でも十分な効果を達成できます。

地震や災害に備える減災と防犯への目黒区様の取り組み。全国のさまざまな地域や施設で培ってきたTOAのIPネットワークシステムの製品とシステム構築ノウハウが活かされています。

施主：東京都目黒区 様

所在地：東京都目黒区中央町一丁目9番7号

納入年月日：2008年8月31日

設計・施工：東日本電信電話株式会社（NTT東日本）様

NEW LINEUP!

ラインアレイスピーカー

遠達性、明瞭性に優れたラインアレイスピーカーに、新たに3タイプが登場!

typeT **近日発売**



SR-T5



写真はネットを外した状態です。

typeC **近日発売**



写真はスピーカーを連結し、ネットを外した状態です。

標準型	防滴型
SR-C8L	SR-C8LWP
SR-C8S	SR-C8SWP
SR-C15B (サブウーハー)	SR-C15BWP (サブウーハー)

typeH



SR-H3L (ロング/直線タイプ)	希望小売価格 ¥78,750 (税込)
SR-H3S (ロング/曲線タイプ)	希望小売価格 ¥84,000 (税込)
SR-H2L (ショート/直線タイプ)	希望小売価格 ¥51,450 (税込)
SR-H2S (ショート/曲線タイプ)	希望小売価格 ¥54,600 (税込)

! ここがポイント!

防球構造を採用し、体育館で防球ガードなしでの使用が可能
金具は壁直付用(付属)、内振り用(別売、SR-PB5)をご用意
別売のトランスを使用すればハイインピーダンス用途にも対応

! ここがポイント!

高域に等位相波面制御スロートを採用し、理想的な線音源効果を発揮するコンパクトなラインアレイスピーカー
バイアンプ駆動・シングルアンプ駆動に対応
(SR-C8シリーズは20cm2Way、SR-C15シリーズは38cmウーハー)
背面メンテナンスが可能

! ここがポイント!

用途に応じて4種類をラインナップ
横幅84mmのスリムなボディー
壁取付、フライング、2連結、スタンド立てなど、様々な用途に対応できる金具をご用意
ツイーターなしでも広い高域指向性を得られるフロントグリルを採用



BGMスピーカーシステム **近日発売**

BGM放送に最適なフラットで癖のない音質。
デザイン性に優れ、様々な空間にフィット。



プロジェクションスピーカー BGM用
PJ-305
ペンダントスピーカー BGM用
PE-305

壁掛型スピーカー BGM用
BS-1010W/BS-1010S
天井埋込型スピーカー BGM用
PC-1861/PC-2361/
PC-2851

! ここがポイント!

日本消防検定協会認定品
取付金具付属(天井埋込型スピーカーは金具一体)

ペンダント、プロジェクションスピーカー BGM用

12cmウーハーとバランスドームツイーターを搭載した2Wayスピーカーで、ローインピーダンス・ハイインピーダンス兼用(30W、100系、8)
照明機器に多用されているペンダント形状のデザインで建築意匠に調和
リペイント対応可能で、様々な空間にフィット

壁掛型スピーカー BGM用

12cmウーハーとバランスドームツイーターを搭載した2Wayスピーカーで、ローインピーダンス・ハイインピーダンス兼用(10W、100系、8)
薄型ボックスによりスピーカーが目立たず、建築意匠と調和

天井埋込型スピーカー BGM用

PC-1861: 12cmコーン型、PC-2361: 16cmダブルコーン型、PC-2851: 20cm同軸コーン型
ローインピーダンス・ハイインピーダンス兼用
スピーカー初のステンレス製スプリングを採用し、施工が簡単かつスピーディー
薄型金属パネル(パネル高さ7mm)採用で、スピーカーが目立たず、建築意匠と調和

コンビネーションカメラ

様々な場所で高精度な監視を実現。高感度蓄積で暗い場所にも対応します。



コンビネーションカメラ
C-CC704

耐衝撃設計 AC24V電源
オープン価格

ここがポイント!

様々な場所に取付可能



壁取付

ポール取付

天井埋込

天井直付

暗い場所での監視に対応する最大64倍の高感度蓄積

最大120倍の高効率ズーム(光学10倍×電子ズーム12倍)

プリセット数64ポジションを設定でき、見たい場所をすばやく映し出すことが可能!

水平監視範囲360°エンドレス、垂直監視範囲 +2°~ -90°と広範囲を監視

IP66対応で屋外の設置も可能(1)

コンパクトな形状で省スペース

「プライバシーマスキング機能」を搭載

(1)カメラ壁取付金具C-BC704Wまたはカメラ吊下用パイプねじ金具C-BC704PBと組み合わせて使用した場合となります。

電話PAコントローラー

離れた場所から放送設備をコントロール。自宅から町内放送も可能に!

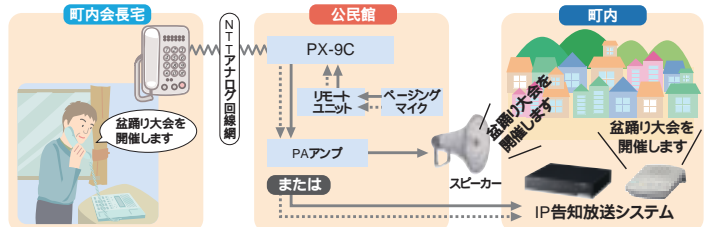
ここがポイント!

電話をかけて放送設備に接続。離れた場所から放送が可能に

アナログ公衆回線に繋いだPX-9Cに電話をかけると、設定したコール回数で自動的に着信し、放送設備に接続。接続後は電話機からのプッシュ信号で放送設備をコントロールし、放送が可能です。例えばご自宅の電話から、公民館にある放送設備のスピーカーで放送することができます。



電話PAコントローラー
PX-9C



アナログ公衆回線に接続し、いつでも・どこからでも放送可能

4回路の制御接点により、一斉放送だけでなく個別放送も可能

放送設備だけでなく照明・エアコン等のテレコントロール(外部制御)も可能

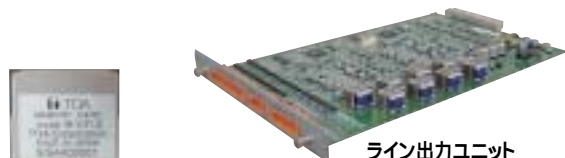
接点制御できる機器に限ります。

音声ファイル装置EV-6000シリーズ

高音質の自動・多重放送が可能。駅・空港の案内放送等に最適です。



メインフレーム
EV-6000MF



音声ファイルメモリーカード1GB
M-CF1G

ライン出力ユニット
EV-6000LU

ここがポイント!

MPEGオーディオ(MP3)を採用し、高音質で音声・音楽を再生

1台で最大8系統・8多重の自動放送に対応

ライン出力ユニットEV-6000LUを増設すれば最大16系統16多重まで拡張可能。

ラックマウントサイズを従来の4Uから2Uに小型化

本体内蔵のモニタースピーカーで再生音声を確認

イーサネットから音源データの高速転送や、ホストPCから音声ファイル装置の制御が可能

音源記憶メディアはコンパクトフラッシュカード(別売)を採用。放送内容の変更はカードを差し替えるだけで済み、作業効率が向上

人と地球環境を守る CVカメラシリーズ

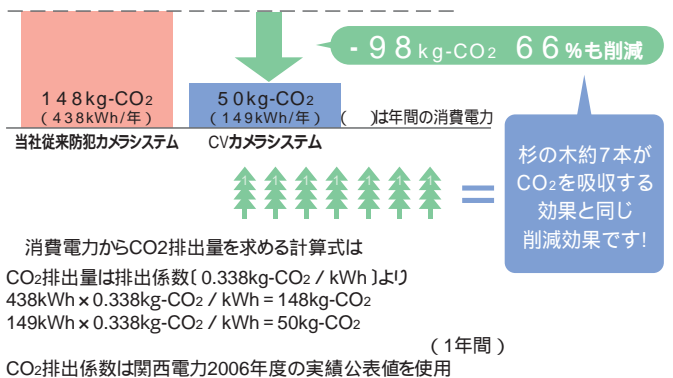
消費電力と発熱量を抑える「定電圧方式」を採用したTOAのCVカメラシリーズ。温暖化の原因であるCO₂排出量の削減に貢献する環境配慮型の防犯カメラです。「定電圧方式」と「定電流方式」のしくみを解説したNEWS OF TOA VOL.49に続き、今回は「定電圧方式」のCVカメラシリーズの環境配慮性に注目してみます。

人々の安全を守りながら、CO₂排出量の削減に貢献

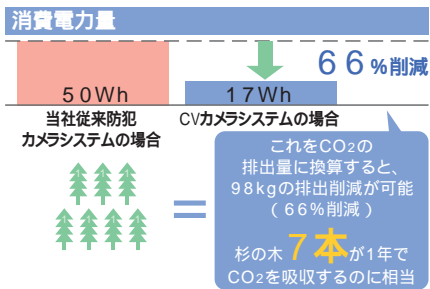
人々の安全を守るため365日24時間フル稼働し続ける防犯カメラ。その消費電力量を削減しCO₂排出量の低減に貢献するのが「定電圧方式」のCVカメラシリーズです。

「定電圧方式」のCVカメラシリーズは、「定電流方式」が採用されている防犯カメラと比較し、約66%ものCO₂排出量を削減することができます(当社比)。これは杉の木約7本を植林するのと同じ効果をもたらします。

年間のCO₂排出量(kg-CO₂ / kWh)(カメラ4台接続時)

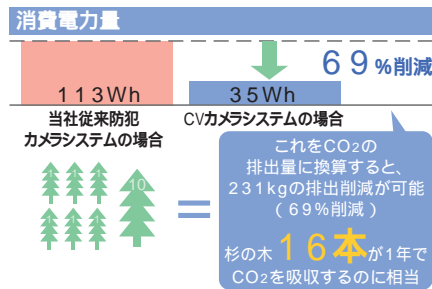


防犯カメラ4台システムの場合



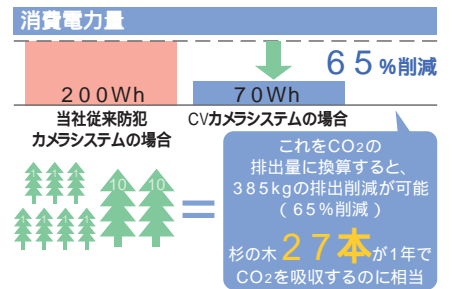
ドライブユニットの消費電力量は、50Wh(当社従来防犯カメラ) 17Wh(CVカメラ)
この場合の年間消費電力量差は
(50-17) × 24 × 365 ÷ 1,000 = 289kWh / 年

防犯カメラ9台システムの場合



ドライブユニットの消費電力量は、113Wh(当社従来防犯カメラ) 35Wh(CVカメラ)
この場合の年間消費電力量差は
(113-35) × 24 × 365 ÷ 1,000 = 683kWh / 年

防犯カメラ16台システムの場合



ドライブユニットの消費電力量は、200Wh(当社従来防犯カメラ) 70Wh(CVカメラ)
この場合の年間消費電力量差は
(200-70) × 24 × 365 ÷ 1,000 = 1,139kWh / 年

京都議定書の温室効果ガス削減義務履行を推進

先進国各国の温室効果ガスの削減目標を定めた京都議定書により、日本は2008年から2012年までの期間中に、1990年の温室効果ガス排出量(12.1億トン)から6%削減することを約束しました。

この削減義務履行の推進にCVカメラシリーズが役立ちます。現在、国内で稼働する防犯カメラ約330万台⁽¹⁾のうち、約42%が定電流方式⁽²⁾を採用した防犯カメラと推測しています。その約42%を占める定電流方式のカメラを、定電圧方式のCVカメラシリーズに切り替えると、温室効果ガスの一種であるCO₂を年間約2.6万トンの削減に貢献できます。⁽³⁾

(1) JEITA(社団法人電子情報技術産業協会)のデータをもとに推定

(2) 機器や抵抗値に関らず一定値の電流を流す方式で、長距離でも安定した電源供給が可能だが、距離に伴い消費電力は大きくなる。詳しくはNEWS OF TOA VOL.49をご参照ください。

(3) 算出方法はTOAのウェブサイトをご覧ください。 <http://www.toa-csr.jp/>

CVカメラで約24,000円/年の電気代を節約!

当社従来のカメラシステムからCVカメラシステムに移行した場合、1年で約24,000円もの電気代をカットでき、経済的です。

試算条件: カメラ16台接続時、8,760時間/年(24時間、365日) 電気料金21円/kWh

